

**コロナで収入状況が悪いと言うが、前年度より稼いでいる!!
10月期改定においても黒字で計画しているなら手当抑制は認めない!!**

2021年度年末手当 第1回交渉～収入動向～

中央本部は10月20日に「2021年度年末手当第1回交渉」を行ないました。

収入動向

- ・上半期のコンテナ収入は、3月からのブロックト레인運転開始等により増収。紙・パルプ、化学薬品も増収。一方で、農産品・青果物は、コロナの影響による需要減に加え北海道地区夏季干ばつに伴う作柄不良により減収となったほか、食料工業品も減収。コンテナ全体では対前年101.0%となった。
- ・車扱は春先の気温が高く推移し灯油を中心に石油が発送減となったものの、セメント・石灰石等が昨年新型コロナウイルス感染症に伴う需要減からの反動により前年を上回った。車扱全体では、対前年101.2%となった。

組合の主張

- ・計画に対して未達だが、それは年度初の計画値が高すぎただけであり、組合員は計画達成にむけて常に奮闘してきた。
- ・今年もコロナは継続しており、2019年度比ではなく2020年度比で比較するべきである。対前年では100%を超えているのは組合員の努力であり、還元するべきである。

**対前年を超えているという実績がある以上
手当抑制は断じて認めない!!**